

## 5/28 地方自治の発展に尽力 篠原功さんに旭日双光章

**元** 洞爺湖町議会議員の篠原功さんが旭日双光章（地方自治功勞）を受章し、伝達式が行われました。

篠原さんは1978年に初当選し、12期45年にわたってまちの発展のために力を尽くしました。伝達式は役場で行われ、下道町長が「45年にわたる町への貢献に感謝します」と勲記や勲章を手渡しました。篠原さんは「いろんな経験をさせてもらいました」と周囲の支えに感謝しました。



旭日双光章を受章した篠原さん(右)と下道町長

## 5/24 知らない人には気をつけて 虻小でALSOKの防犯教室

**虻** 田小学校（横山慎二校長）でALSOK（アルソック）による「あんしん教室」が行われ、全校児童が防犯について学びました。

1・2年生は防犯標語「いかのおすし」の意味を考えたり、容姿が異なる人の写真を見ながら不審者の特徴を学びました。

また、最後には不審者に扮したアルソック社員が登場。声をかけられた児童は、不審者の特徴などを覚え、先生に伝えることができました。



防犯について学んだ児童

## 6/5 入江・大磯地区の開拓馬を慰霊 馬頭観世音碑を参拝

**入** 江地区および大磯地区の馬頭観世音碑の建立記念事業が行われました。

馬頭観世音碑は、江戸時代に蝦夷地（北海道）の開拓のために使役された馬の守護を祈って建てられたもので、入江馬頭観世音碑は北海道で最も古いものとされています。

当日は副町長や教育長などが入江、大磯をそれぞれ回り、エンジンやリングなどを供え、開拓への貢献を感謝し、供養しました。



供養が行われた入江馬頭観世音碑のお堂内

## 5/30 小さな手でまちをおそうじ 桜ヶ丘保育所が清掃活動

**桜** ヶ丘保育所の3〜5歳児が、保育所周辺の清掃活動を行いました。

洞爺湖温泉8区自治会も協力し、子どもたちと手をつないで道路脇や草むらに目をつらした。ポイ捨てごみを見つけると、次々にごみ袋に入れ、まちの美観向上をお手伝いしました。

最後は記念撮影し、子どもたちは地域との交流を楽しみながら清掃活動を終えました。



ポイ捨てごみなどを拾い集める子どもたち

## 6/13 洞爺湖温泉に訪れる観光客のため 虻高が足湯を清掃

**虻** 田高校（千葉佳貴校長）の1年生12人が洞爺湖温泉の足湯を清掃しました。例年行っている体験学習の一環で、洞爺湖の魅力を知り、地域貢献や観光の活性化へとつなげるために実施しています。当日は、洞龍の湯と薬師の湯の2班に分かれて清掃を行いました。普段はお湯が張られている浴槽を、たわしやデッキブラシなどで磨いたり、座席や手すりを雑巾で拭いたりして、一生懸命汚れを落とすしていました。



## 6/6 よりよい社会のため 洞爺湖町少年の主張大会

**洞** 爺湖町少年の主張大会が役場防災研修ホールで開催されました。虻田中学校、洞爺中学校の代表者6人が参加し、SNSでの誹謗中傷や地球温暖化への影響などについて、それぞれの思いや意見を発表しました。最優秀賞を受賞した虻田中学校3年生の白井遥ノ椀さんは、7月17日に室蘭市で行われた胆振大会において、最優秀賞を受賞。9月6日に札幌市で行われる全道大会に出場します。



## 7/1 交通事故根絶の決意を一つに 箱根町交通指導隊が来町

**箱** 根町交通指導隊（加藤隆司隊長）が、洞爺湖町を親善訪問しました。指導隊は役場を訪れ、洞爺湖町交通安全指導員会などの歓迎を受けました。あいさつした西岡健市副会長は、これまでの交流の歴史を振り返りながら今後の団結を呼び掛けました。加藤隊長も指導員会との結束を訴え、出席者は交通事故根絶の思いを一つにしました。続けて意見交換などが行われ、事故対策を確認しました。



## 6/14 旬の地元野菜を販売 えんプロ市開催

**町** 内の若手農業者が野菜の移動販売を行う「えんプロ市」が行われました。地元の野菜の魅力を広めようと継続して開催しており、この日はあぶたふれ合いセンター、虻田郷土資料館駐車場で行われました。トラックには新鮮なイチゴや越冬ジャガイモ、春堀り長いもなどが並び、訪れた町民は楽しそうに野菜を選んで購入していました。8月〜10月にも各会場販売が行われる予定です。

